

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	老人福祉センター 倉敷市まきび荘
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖180 名称 社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 山崎 要
(3) 公の施設の所管部署	健康福祉部健康長寿課
(4) 評価対象期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年2月2日に実施した立入監査の結果、良好な管理運営がなされていることが確認できた。 ・令和3年3月に実施したアンケート調査の結果、現行の指定管理者は、利用者から好感を持って受け入れられていることが確認できた。 ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、施設の臨時休館や利用制限等を行ったことにより、利用者数が大幅に減少（前年度比30.0%）したものの、日々の施設管理においては、利用者の安全を第一に考え、マスク着用や三密回避等の基本的な感染対策に加え、入館時の検温、利用者名簿作成、アクリル板設置、部屋の人数制限、共有スペース・物品の消毒、大きな声を出す活動の制限等に取り組んでおり評価できる。 ・以上の点から、評価対象期間において、社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団は適切に指定管理業務を遂行したと判断する。 	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	<p>地域の高齢者に対し各種の相談に応じるとともに、様々な講座や事業を実施して、学ぶ意欲に応え創作を楽しむ場を提供しました。</p> <p>4月16日に発出された新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を受け、1か月に渡る休館から始まった今年度</p>	

	<p>は、密を避けるため参加人数を抑制し、感染予防対策を励行しながら、運営に工夫を凝らした1年となりました。</p> <p>感染予防対策を取りながら各種事業を可能な限り実施したものの、利用の多くを占めていた同好会活動のうち、4団体が活動を休止しており、利用者数は大きく減少（前年度比30.0%）しました。</p> <p>いきいき講座では、身体を動かすことについてのニーズが高いことから、新規に百歳体操を開催したところ、多くの参加があり、好評でした。</p> <p>その他、手編み教室や生け花教室などについては、感染予防対策と希望者全員の参加を両立させることを目指しましたが、定員を少なくしたものの、実施回数が増やせなかったことにより、希望者全員の参加には至らなかったものもありました。</p> <p>同好会活動では、感染予防対策のため活動を休止している団体もありますが、十分な感染予防対策を取りながら活動できるものについては、再開に向けて情報提供や協議を行いました。</p> <p>地元婦人部「みその会」や真備地区老人クラブの方々とともに実施する荘内の清掃活動や剪定作業を通じての交流活動については、例年どおり実施することができました。</p> <p>これからも、より多くの方々が明るく生きがいを持った生活が送れるよう、利用者のニーズに沿った事業やサービスの充実に努めます。</p>
(3) アンケート結果の概要	<p>アンケート調査の結果、利用者の満足度は、施設全体は97%以上、職員対応は100%、施設の衛生管理は97%以上、安全対策は94%以上となった。よって、現在の指定管理者は、多くの利用者から好感を持って受け入れられていることが分かった。</p>

2 施設の利用状況

(1) 利用者数	利用者数			特記事項
	今年度	前年度		
	5, 179人	17, 253人		
(2) 事業の内容	<p>(1) センターの使用許可に関する事務</p> <p>(2) センターの維持管理に関する業務</p> <p>(3) 高齢者の生活, 住宅, 身上等に関する相談ならびに指導業務</p> <p>(4) 高齢者の疾病の予防, 治療に関する相談ならびに指導業務</p> <p>(5) 高齢者の生業および就労等の指導業務</p> <p>(6) 高齢者の後退機能の回復訓練ならびに指導業務</p> <p>(7) 高齢者の教養の向上およびレクリエーション等の事業</p> <p>(8) センターの利用者の利便性を向上させるために必要な業務</p>			

3 収支 (見込み)

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	18, 448千円	
	市からの指定管理料	18, 239千円	
	その他の収入	209千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	18, 269千円	
	主な支出	人件費	11, 546千円
		光熱水費	1, 509千円
		修繕料	241千円
		業務委託費	469千円
		その他	4, 504千円